

ミャンマー日記 (2009年7月～8月)

江本弘次郎

サイクロンで被害を受けたヤンゴン港と内陸水運施設の復旧支援策をまとめ、ビルマ（現ミャンマー）政府と協議のため7月15日に再度ヤンゴンに向かった。今回は8月4日までの短期滞在である。

7月15日

留守中の庭の手入れ（芝生の雑草取り、刈り込み、水遣り）を済ませ、お土産を抱え成田空港に向かう。搭乗手続き、フライト、バンコク乗換えなど特記することもなく、予定通りヤンゴンに到着する。雨季に入り、雨が降っている。

ホテルにチェックインし、パソコンへのインターネット回線接続を依頼した。ホテルのITエンジニア（可愛い娘さん）がセッティングしている間に荷解きをする。しばらくパソコンを操作していた娘さんいわく「この部屋のインターネットはワイヤレスで、今は感度が低くて使用できない。インターネットを使うのなら、ケーブルのある部屋に移動してちょうだい」と。

「アチャー！」、荷解きしたものを再度トランクに詰め、前回と同じ部屋に移る。娘さんがパソコンにケーブルを繋ぎ、ヤフー画面を確認したあと荷解きを終わると、夜の12時を過ぎていた。

7月17日

私の歓迎会という名目でチームメンバーと、ミャンマーダンスを見ながら食事ができる水上レストランに行った。観光シーズンには予約客で満席となるが、雨季のせいか空いている。一番前のテーブルでビールを飲みながら、踊りと操り人形を観賞する。出し物は20年前と同じで、舞台の仕掛けも全てマニュアルである。幕間に喫煙所でダンサーの一人と話す機会を得た。彼はコンピューター専攻の大学を卒業したが、仕事がないのでアルバイトで踊っているという。食わねばならないからと笑っていた。（左端のダンサー）



7月18日

今日は土曜日。阪神・巨人戦を衛星放送で放映するので、事務所から早めにホテルへ戻る。昨日は劇的な逆転勝利を収めたと TV ニュースは伝えていたので期待する。ミヤンマービールを飲みながら応援するが、回が進むにつれ、やっぱりあかんわ、で終わる。

7月19日

朝早くチームメンバーとヤンゴンゴルフクラブに向かう。雨は幸いにも降っていない。しかし、連日の雨でフェアウェイは軟弱でボールの転がりはゼロである。ラフに打ち込めば生い茂った芝と雑草のためロストボールを覚悟しなければならない。それでもゴルフは楽しい。ボールを3個ロストし、15番ホールティショットを終えたところで雨が降ってきた。木陰で雨宿りをしますがますます激しくなる。これはあかとあきらめ、クラブハウスへ引き返す。

ここヤンゴンの年間降雨量は約 3,000mm で東京の 2 倍である。この雨量が雨季の 6~9 月に集中する。日本でも豪雨のため衛星放送が中断されることがあるが、ヤンゴンでは中断が多い。雨が電波を遮るのか、アンテナに水がかかるためなのか、よくわからない。夜、阪神・巨人戦の結果をヤフーで見ると、能見の好投と金本の殊勲打で 1 - 0 の勝利、対巨人戦の 3 連戦勝ち越しはいつ以来だろうか？

7月28日

ローカルスタッフ（秘書と CAD オペレーター）をねぎらうため、ヤンゴンで最も古い日本料理店「ふるさと」で昼食を共にした。若い人たちには初めての日本料理だが、とんかつ定食は好評だった。



7月某日

日本も大雨で被災の TV ニュースが流れている。ヤンゴンも連日、雨が降る。秘書のエイさんの話では近くの粗末な高床式バンブーハウスで幼児が死んだと。母親が外出から帰宅すると幼児がいなくて。近所の人たちが探したところ、床下の水溜りに浮かんでいるのが見つかった。竹の床の隙間から落ちたようだ。

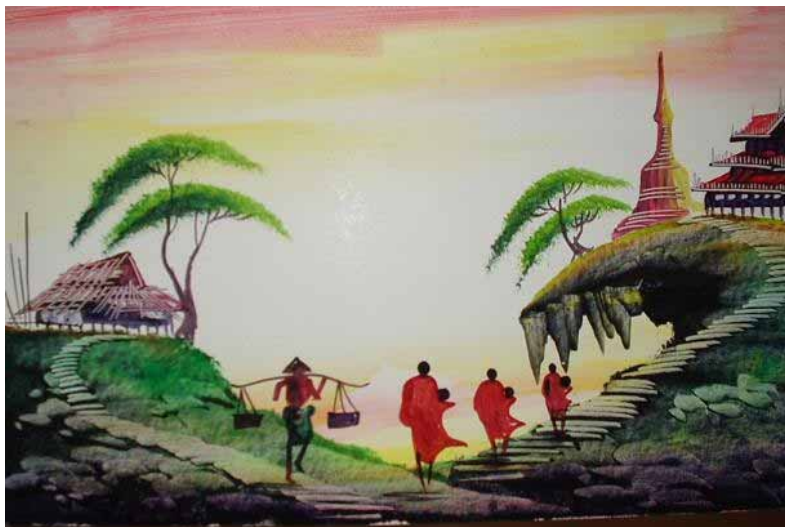
8月1日

今日も雨模様だが、ミャンマーの友達とゴルフを楽しんだ。プレイ後、ホテルの日本料理店へ招待した。ビュッフェスタイルのディナーである。彼らは日本で研修を受けた経験があるので刺身、てんぷら、寿司などを好んで食べていた。お好み焼きを皿に盛り、うまそうに食っているのを見て驚いた。



8月4日

今回の仕事が一段落し、今夕ヤンゴンを発つ。事務所の人たちに「さようなら」を言い、町を歩いていると、人だかりを見つける。何かと覗いて見ると水彩画を描いている人がいる。彼の前に作品が並んでいる。見事な出来栄である。値段を聞くと1枚250チャット(約25円)という。あまりの安さに驚き、もう一度聞く。気に入った4枚の絵を選び1,000チャット(約100円)を支払いトランクに収めた。(1枚25円の水彩画)



8月5日

バンコク、ノヴォテルホテルのWake up callで目が覚め、空港に向う。JALのさくらラウンジでおにぎりの朝食を済ませ、仕事の連絡をするためインターネットサービスのデスクを見ると満席である。10席ほどあるが、ビジネスマンで一杯である。メールを送信している人、朝飯を食っている奴、新聞を見ている奴。暫く待つが空きそうにない。待っている人への気配りなしに席を独占している無神経な輩(全て日本人)に失望し、搭乗ゲートに向った。



(1枚25円の水彩画)

(つづく?)